

小学生を対象とした加西市の農業の啓発活動について

5月8日（火）、市立九会小学校5年生の児童52名を対象に「九会小学校区での農業についての学習」を実施しました。

糞屋ダムの水がどのようにして私たちの所まできているのか、そして九会校区の農業の現状などについて一緒に学習しました。加西市役所地域振興部農政課での主な役割や、九会校区の主要な主水源を管理している加古川西部土地改良区での役割など「加西市の農業」について説明を行いました。

また、恵まれた環境の中で多くの作物を作っている「九会校区の農業」についても学習しました。米や加西トマト、ブドウ、バナナなどの具体的な九会校区の農作物の栽培についてや、加西産コシヒカリがごはん給食として使用されていること、地産地消の大切さについて説明しました。

九会小学校の児童のみなさんは静かに話を聞いてたくさんメモをとり、積極的に質問をしていました。児童のみなさんは九会校区の農業を詳しく知ることができてとても喜んでいました。加古川西部土地改良区はこれからも継続して子どもたちに農業の大切さや水利施設の存在意義を伝えていければと思います。

【当日の行程】

09:10	学校到着
09:20～	授業開始（図書室）
09:30～	ゲストティーチャー紹介・講話
09:50～	質疑・応答
09:55～	ふり返り
10:05	授業終了

【活動状況写真】



事務局長の講話

